



おうかえん

平成28年1月 NO. 42

謹賀新年

〒378-0406

群馬県利根郡片品村大字摺淵340番地
社会福祉法人 尾瀬長寿会

TEL 0278-58-4010

”平成28年 明けましておめでとうございます”

皆様には、平成28年の新春を健やかに迎えられたことと拝察し、謹んでお慶び申し上げますとともに、日頃より尾瀬長寿会のため多大なるご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、私こと、前理事長の逝去に伴い、昨年11月20日に理事会及び評議員会におきまして後任として選任され、理事長に就任致しました。もとより浅学菲才でありまして、この重責に責任を痛感しております。桜花苑開設当初より19年間、事務局として施設運営に携わってまいりました経験と知識を活かし、高齢者福祉事業になお一層尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

今年2016年の干支は60年に1度の丙申(ひのえさる)。一般に申年は病が去る、災いが去る、等言われてますが、丙申は、これまでの頑張りが形になっていく。評価されてこなかったことが評価される。これまで気付けなかったことに気付ける。という年でもあるそうです。努力が報われるためには、まずは行動し、一年後振り返ったときに、ぜひ努力の形を実感したいものです。

昨年は、介護保険法及び介護報酬の見直しが行われ、厳しい施設運営を迫られてまいりましたが、本年も皆様の穏やかな生活を支える介護施設として、良質な介護の提供と、地域福祉の拠点となるべく、地域の行政関係者、関係機関との連携と、更なるご指導を頂き、信頼される尾瀬長寿会「桜花苑」を目指し、全職員が努力して参ります。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

今年一年、皆様にとって良い年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年 新春

理事長 星野恵美子

新年明けましておめでとうございます。2016年の新春を健やかに迎えられご同慶の限りです。昨年は皆様方には、暖かいご指導、ご厚情を賜りまして厚く御礼を申し上げます。本年も相変わらず宜しくお願い申し上げます。

年末年始は大した降雪もなく、暖冬で終わってしまいました。スキー産業を目玉にしている片品村にとっては、非常に残念な事であります。こうした異常気象は毎年起こっている事にも注視したいものです。これらもエルニーニョによる地球温暖化現象と思われる異常気象で年間を通してこうした現象が視られるようになりました。とりわけ、集中豪雨(ゲリラ豪雨)や強い台風、猛暑、冷夏、洪水、干ばつなどの異常気象は、人類が生活していく中で自然環境の重要性の警鐘と感じております。南米のアルゼンチン等では、大規模な洪水に見舞われ5人が死亡、15万人が避難を余儀なくされており、その後さらに竜巻や洪水などにより、27日までに7州で41人の死者が出ております。こうした、自然環境の恐威は今後更に増え続ける可能性があります。

12月12日には、2020年以降の地球温暖化対策の枠組み「パリ協定」が196カ国が参加してフランスのパリで開かれた条約会議で採決されました。本をただせば、地球温暖化の要因は人類に他ならないかもしれません。100年後には、このままだと海水温度が4℃上昇するそうです。こうしたことにより、海水の膨張や、南極、北極の氷が解けてしまうことや、海水も50cm上昇し90%以上の砂浜が消滅の危機になることです。

新年早々あまり良い話ではありませんが、将来を思うとき、これらの地球環境が少しでも良い方向に転換できるようにまた、後世に良い形で繋がるよう心より願いつつ、本年も皆様方にとって最良の年になりますよう祈念して年頭の挨拶といたします。

平成28年元旦

施設長 井上光三郎



新年を迎えた苑では、おとそ配りがおこなわれました。その後、ボランティアで訪れた星野彩香さんによる日本舞踊が披露され、賑やかな1年の始まりとなりました。



寄付

平成27年10月から平成27年12月

社会福祉法人尾瀬長寿会に過分なご寄付をたまわりまして誠に有難うございました。皆様方の温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。

寄付金申込者様

星野 傳六 様
施設で有効利用して下さいと御奉仕を頂きました。

寄付物品申込者様

篠原 源一 様
青木 博子 様

